

●情報アラカルト

大正女性の魅力をもっと知りたい！

すてっぷには、雑誌「青鞥」をはじめ書評で紹介した以外の同時代の人物に関する図書、女性史研究の学会誌などの所蔵資料もある。

◀女性史に関する図書の一例▶

- 『女たちの20世紀・100人 姉妹たちよ』
ジョジョ企画／編 集英社 1999年【281ジ】
- 『女の一生 人物近代女性史 2～8』
瀬戸内晴美／編 講談社 1980～1981年【281セ】
- 『日本女性史大辞典』
金子幸子 ほか／編 吉川弘文館 2008年【367.2カ】
- 『ジェンダーからみた日本女性の歴史 写真とイラストで学ぶ』
ねりま24条の会／編 明石書店 2005年【367.2ホ】
- 『この百年の女たち ジャーナリズム女性史』
岡満男／著 新潮社 1983年【070ホ】

◀雑誌・学会誌の特集ピックアップ▶

- 昭和女子大学 女性文化研究所紀要 第39号 2012年
「近代日本におけるジェンダー秩序と婦人雑誌を
考える旅—『私』的な問題意識を出発点に、
社会的な視野の広がりをもとめて」
- 女性歴史文化研究所紀要 第20号 2012年
「特集 田端泰子氏と日本中世女性史、第二特
集 日本近世女性史」
- ウィメンズ・ステージ 32号 2012年
「『青鞥』100年が現代に伝えるものは」

●映像資料

「八十七歳の青春 市川房枝 生涯を語る」(DVD)

桜映画社／企画・製作 121分 2010年【ドキュメンタリー-108】



明治・大正・昭和にわたって女性参政権の獲得、女性の地位向上のために生涯を捧げた市川房枝が、後に続く後輩たちへ自らの人生を語るドキュメンタリーである。

幼少時代、暴君だった父からひたすら耐える母を泣きながらかばい、「なぜ女は我慢しな

ければならないのか」と感じたことが市川房枝の出発点になった。平塚らいてう達と日本初の婦人団体である新婦人協会を設立し、女性の集会結社の自由を禁止していた治安警察法第5条の改正を求める運動を展開した。「違反を承知で選挙演説会場にこっそりもぐりこんだ」と茶目つつぷりに語る彼女は、その事態を楽しんでいたようにさえ見える。戦後、女性参政権が確立されてからは政治家として活躍し、平和と平等を訴え女性に対するあらゆる形態の差別撤廃に取り組んだ。市川房枝のひとり語りの合間に、当時の世相を実証する新聞記事や写真・動画が挿入されており、その時代を知る長編記録映画としても楽しめる。

●インターネットで学ぶ&情報探し

雑誌『青鞥』と「新しい女」たちの肖像 (<http://library.city.iwaki.fukushima.jp/news/kikaku34.html>)

岩手県いわき総合図書館において、2011年に開催された「雑誌『青鞥』創刊100年企画展示」の展示配布資料を紹介。「青鞥」の変遷から本誌を舞台に活躍した女性たちの関連ブックリストまで、「青鞥」に関わる情報をくまなく網羅している。

堺市立文化館内 与謝野晶子文芸館 (<http://akiko.sakai-bunshin.com/about.jsp>)

堺出身の女流歌人と謝野晶子の生涯とその活動の一端を示す直筆資料や出版物等により、今日においてもなお幅広い分野で評価されている晶子の全体像を紹介する。

国立女性教育会館女性アーカイブセンター (<http://www.nwec.jp/jp/archive/>)

明治期以降に作成された女性に関わる資料で、非刊行の公私の記録・文書、音声記録、映像記録等を収集公開している。主に男女共同参画社会の形成に顕著な業績を残した女性、全国的な女性団体や、女性教育・男女共同参画施策等に関する史・資料がある。サイトでは所蔵資料の目録と一部のデジタル画像を見ることが出来る。

◆情報ライブラリー利用案内◆

- 利用時間** 月～土 10:00～20:00
日 曜 10:00～17:00
(情報相談は閉室30分前まで)
- 休室日** 毎週水曜、毎月最終火曜、
祝日(日曜の場合は翌日)、年末年始、
特別整理期間

Stepping Out 第23号 2012年12月28日発行

編集：すてっぷ・情報ライブラリー
発行：財団法人とよなか男女共同参画推進財団

〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1-1-1-501
TEL 06-6844-9735 FAX 06-6844-9706
ホームページ <http://www.toyonaka-step.jp/>